

令和5年度 南国市立国府小学校 学校経営グランドデザイン

国：日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
県：第3期高知県教育振興基本計画
市：南国市教育振興基本計画
「かがやく明日への人づくり」～21世紀を担う子供たちの生きる力を育む教育の推進～

学校教育目標：自立できる子どもの育成

研究主題：自ら学ぶ力の育成～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～（国語科を中心として）

【目指す学校像】

- ・「智・徳・体・食・防」育のバランスのとれた学校
- ・国府地域の歴史と伝統文化を大切にしている学校

【目指す児童像】

- ・自ら学ぶ子
- ・やさしい子
- ・たくましい子

【目指す教師像】

- ・教育公務員としての使命を自覚し、子どものモデルとなる教師
- ・専門職にふさわしい資質の向上に努める教師

【子どもの実態】

- ・指示されたことはきちんとできる
- ・自ら考え主体的に行動することが苦手
- ・相手に伝わるように表現することが苦手

【保護者・地域の願い】

- ・学力の向上
- ・友だちと仲良くする
- ・思いやりのある子に
- ・地域の歴史と伝統を大切に

【学校経営理念】

地域の歴史と伝統文化を継承する学校としての誇りを持ち、地域の特色を生かした教育活動を展開するとともに、Society5.0の社会を生きる子どもたちを育てるという意識をもち、情報や文章を読み解く力、コミュニケーション力、他者と協働しながら課題を解決する力等、豊かな人生を切り拓くことのできる資質・能力を育む学校づくりを推進する。

【学校経営方針】

- 1 チーム国府小として、互いの英知を結合させて行動するとともに、先見性と柔軟性をもって力をつく授業や教育活動を展開する。
- 2 地域の歴史と伝統文化を学び、郷土への愛着と誇りを持てる児童の育成に取り組む。

【育成したい資質・能力】：「自ら気づき、判断し、正しく行動する力」「相手に伝わるように表現する力」

【知】授業改善による学力向上

○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践

- ・国府スタンダード
- ・身に付ける資質・能力を明確にした授業づくり

○基礎基本の定着と学力向上

- ・必達基準に基づく指導とチェック
- ・学力調査の結果分析による授業改善
- ・家庭との連携による家庭学習の習慣化

○学習意欲の向上

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ・振り返りの充実 ・探究的な学習課題の設定 等

【徳】互いに共感し合える優しく強い心づくり

○安心して学ぶことのできる学級・学校づくり

- ・日常の丁寧な観察・対話、Q-U調査の実施・分析による気になる児童の早期発見・早期支援
- ・校内支援会の実施（外部専門家等との連携）

○道徳性の向上

- ・道徳推進教師による校内研修
- ・児童主体の学校生活の向上
- ・「高知の道徳」の活用

○自尊感情の醸成

- ・「はーと通信」「はーとコーナー」による認め合い活動
- ・授業における関わり合い・認め合いの場の充実

【体】健康でたくましい体づくり

○生活習慣の定着

- ・健康教育、生活調べとお便り発行
- ・食に関する指導の充実

○体力向上

- ・業間体育や「こうちの子ども体力・運動能力向上プログラム」を活用した継続的な取組
- ・身に付けさせる運動能力を明確にした授業づくり

【横断】

- 支援の必要な児童や不登校傾向の児童に対する体制を整える：定期的な校内支援会、外部人材の協力
- 学校全体で働き方改革を進め、教員が本来の業務に専念できるようにする：ICT活用、支援員活用、会議の精選、文書整理、不祥事未然防止等
- 関係機関等との円滑な接続を図り、チームで連携・協働する体制づくりをさらに進める：防災・避難訓練、メンターチーム会充実、学校運営協議会、保幼小連携